

I 調査の概要

1 目的

性別にとらわれることなく、一人の個人としていきいきと暮らせるような「男女共同参画社会」の実現に向けて、山口市の男女を対象に、役割意識や日常の生活などについて調査し、今後の男女共同参画施策を効果的に推進するための検討資料にすることを目的とする。

2 調査内容

(1) 男女共同参画社会について

- ・「男女共同参画社会」の認知度

(2) ジェンダー意識・男女の地位について

- ・「男は仕事、女は家庭」という考え方
- ・性別による不快感
- ・分野別男女平等感
- ・分野別固定的性別役割分担意識

(3) 家庭・地域における男女共同参画について

- ・家事等の分担
- ・介護の担当
- ・男性の家事、育児、介護や地域・社会活動への参画の考え方
- ・男性の家事、育児、介護や地域・社会活動への参画のために必要なこと

(4) 職場における男女共同参画について

- ・仕事をしている理由
- ・就労希望の有無
- ・就労しない理由

(5) 女性の活躍について

- ・女性が職業を持つことに対する意識
- ・「マタハラ」の認知度
- ・「ワーク・ライフ・バランス」の認知度
- ・女性が活躍できる職場環境のために必要なこと
- ・家族や社会等の環境整備において必要なこと

(6) 男性による育児・介護について

- ・男性による仕事と育児・介護の両立支援制度の活用
- ・男性による育児休業・介護休業・子の看護休暇の取得が低い理由

(7) 職場における男女格差

- ・職場における男女格差

(8) DV（ドメスティック・バイオレンス）について

- ・「DV」の認知度
- ・暴力に対する意識
- ・配偶者等から暴力を受けた経験の有無

- ・DVに関する相談窓口の認知度
- (9) 行政に望む施策等について
- ・行政に望む施策
 - ・公的委員への就任
 - ・「山口市男女共同参画センター」の認知度

3 調査設計

- (1) 調査対象者：18歳以上の男女2,000人（男性1,000人、女性1,000人）
 （参考）平成23年調査：18歳以上の男女3,000人
- (2) 抽出方法：無作為抽出法
- (3) 調査方法：郵送調査
- (4) 調査期間：平成28年9月13日～10月14日

4 回収結果

A. 発送総数	2,000人
B. 転出、記入不能などによる事故表	12人
C. 調査対象（A－B）	1,988人
D. 回収数（回収率39.8%）	797人
E. 有効回答	797人
F. 有効回答率	40.1%

5 調査結果の見方

- (1) 調査結果は、各問の有効回答数（図ではNで表示）に対する百分率（%）で表示した。
- (2) 百分率（%）は、小数点以下第2位を四捨五入して算出したため、合計が100%とまらない場合がある。
- (3) 集計表においては、性別、年代等属性の不明なもの数値は除いてあるため、属性毎の合計と全体の合計が一致しない。
- (4) 図表化するにあたり、選択肢の文字数が多いものは簡略化している。
- (5) 本報告書では、経年比較を行っており、「H23」とは平成23年度に実施した調査を指す。